

## 2019年度 学校経営計画及び学校評価【城星学園小学校】

### 1 めざす学校像

城星学園は、カトリックの精神に基づき、創立者聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）の教育理念である『道理』と『信仰』と『愛』に根ざした教育法によって、園児、児童、生徒の全人間教育に励み、神を敬い、人を愛し、自然を大切に『良心的な人間、よき社会人』を育成することを使命としています。

「教育は心の問題であり、青少年を愛するだけでは足りません。  
青少年が愛されていると感じられるように彼らと共に生きる」

### 2 中期方針・中期行動計画

- 1 ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する
  - (A) ミッションスクールとしての意義をより強く認識する
  - (B) ミッションスクールとしての特性を具現化する
  - (C) 保護者の理解度を向上させる
- 2 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する
  - (A) 各学年にふさわしい安全教育を実施する
  - (B) 危機管理研修を実施する
  - (C) 避難訓練を実施する
- 3 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する
  - (A) 教職員研修を実施する
  - (B) 児童に関する情報交換を実施する
- 4 校種間、兄妹校間の連携を強化する
  - (A) 全校種合同研修会を実施する
  - (B) 幼稚園と小児童の交流会を実施する
  - (C) 小と中高の教員による授業研究を実施し交流を図る
- 5 自然に挨拶が交わせる学園にする
  - (A) 教職員間で挨拶を励行する
  - (B) 児童に対し挨拶・会釈の指導を行い励行を促す
  - (C) 保護者に対し啓発を行う

### 【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

ア. 自己評価アンケート結果と分析	イ. 学校関係者評価委員会からの意見
<p>&lt;評価が相対的に高かった項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○建学の精神・教育理念に共感できる</li> <li>○学校が楽しい</li> <li>○学校行事が楽しい</li> <li>○行事数が適切</li> <li>○保護者に対して教育理念の説明を分かりやすく行っている (すべて満足度83%以上)</li> </ul> <p>&lt;評価が相対的に低かった項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域との連携を積極的に図っている</li> <li>○進路指導の時期等が適切である</li> </ul>	<p>学校法人城星学園学校関係者評価委員会は理事会・後援会（保護者）・各学校種管理職・評議員（学識経験者）により構成されている。2019年度学校評価に関する検討は2020年3月31日（火）に行われた。</p> <p>&lt;意見まとめ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全般について                     <p>おおむね学園生活への満足度は高いと考えられる。「EQ(心の知能指数)」教育等を、キリスト教校として率先して取り組む等、学園の絶対的素地を活かした教育方針を打ち出し、他校との差別化をアピールするのも学園全体の底上げになると考える。</p> </li> <li>○進路指導について                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導の項目が満足度が低いが、対して学校選びで重視した点の低位にキャリア教育とある点にやや矛盾を感じる。</li> <li>・「学校を選ぶ上で重視した点に関する結果」は例年通り「教育方針」「校風」であるが、保護者は低学年から「受験に役立つ学力を伸ばすこと」を期待していると考えられる。学校と保護者の進路指導等に関する(子どもを含める)個々の意識の確認が必要である。</li> </ul> </li> </ul>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 (2019年12月実施の学校評価アンケート結果)	自己評価
1 ド リ ッ ク ボ ス コ 学 校 を の 精 神 に よ る カ ト	ドン・ボスコ、 マリア・マザレ ロについて学び を深める	ア) 宗教研修を活性化する(宗教研修、ドン・ボスコ研修、1泊研修)。聖書「ヨハネ15・11」に親しみ、具現化を図る。	設問「建学の精神および教育理念に沿った教育を行っている」のA・B評価が80%以上。	ア) A・B評価 81.5%。研修は継続してきたが、シスター・信者の減少に備えて、各教員がさらに聖書を読み深め、分かち合う必要がある。(○)
		イ) ドン・ボスコ・マリア・マザレ・ド・メコサビオ・ラウレ・ケニヤの生き方に倣う。光の子集会及びその事前・事後指導を大切に扱う。	設問「教育目標(および指導方針=シラバス)に沿った教育を行っている」のA・B評価が80%以上。	イ) A・B評価 72.3%。意識の向上は見られるものの、行動が伴わないという永遠の課題に向けて保護者の協力を得ながら推進していきたい。(△)
		ウ) 保護者対象勉強会、ドンボスコ勉強会(シスター、校長、教頭)を実施する。	設問「建学の精神および教育理念の説明をわかりやすく行っている」のA・B評価が80%以上。	ウ) A・B評価 83.4%。毎回90%近い出席率があり、保護者の方の本校に対する高い意識が感じられた。要望に応えられる内容を準備していきたい。(○)
2 「 園 児 ・ 児 童 ・ 生 徒 の 安 全 」 管 理 を 徹 底 す る	学 齢 に 応 じ た 安 全 教 育 を 実 施 す る	ア) 学年別各種教室を実施する。特に下校指導に重点を置き、教師による立番指導、巡回指導を強化する。防犯訓練を実施する。	-	ア) 教員による巡回指導及び安全面を重視した度重なる下校指導等を行ったものの、下校時の児童の危険な行動が見られ、指導することがあった。(△)
		イ) 心肺蘇生法研修を実施する。炊き出し訓練を実施する。新1年生対象に災害時児童引渡し訓練を実施する。	設問「学校の施設・設備は安全管理が行き届いている」のA・B評価が80%以上。	イ) A・B評価 75.1%。心肺蘇生法、各教員研修は実施済み。毎週金曜日の安全点検において全教員で校舎、運動場の安全チェックを実施した。(○)
		ウ) 全校避難訓練を年3回実施する。二次災害を考えた(津波等)避難訓練を実施する。	-	ウ) 3階を利用した二次災害時(津波)避難訓練を実施。教員は防災ヘルメットを使用した。防犯訓練の一環として昼休みに不審者侵入時の避難訓練を実施した。(○)
3 「 育 成 す る 良 心 的 な 教 員 」 を よ き 成 社 会 人 」 を	教 職 員 研 修 を 実 施 す る	ア) 「リスクマネジメント」に関する研修を実施する。SNS、ライン等による弊害についての研修会を実施する。	設問「教職員は、社会人としての良識をわきまえた言動を実践している」のA・B評価が80%以上。	ア) A・B評価 73.2%。ネットリテラシー関連の教育図書を購入し意識の高揚に努めた。教員全体研修の実施は時間がとれなかった。(△)
		イ) 新任研修会を実施する。	-	イ) 初任者研究授業、宗教科道徳研究授業を実施した。事前に教科部長や学年部からの指導の時間を設けた。(○)
	児 童 に 関 す る 情 報 交 換 を 実 施 す る	ウ) 学年会、学年部会、職員会議等において日常的に情報交換を行う。要望に応じて、児童または保護者対象の教育相談を実施する。	設問「教員間での連携が十分に図られている」のA・B評価が80%以上。	ウ) A・B評価 69.7%。問題を有する児童及び不登校児等について、教育相談室と連携をとり、実りの多い指導を実施するように努めた。(△)

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
4 校種間、 兄妹校間の連携を強化する	他校種との交流を活性化する	ア) 合同研修会を実施する。チャレンジゼミを継続実施する。すてらの会への参加を奨励する。	-	ア) チャレンジゼミは年4回の実施となった。今後、中学校英語学習に関するゼミ及び教員間の研修会の実施に向けて計画中である。(○)
		イ) 交流会を実施する。幼小の教員情報交換会を実施する。	設問「小学校は、幼稚園及び中高と連携した活動を行っている」のA・B評価が60%以上。	イ) A・B評価 49.6%。年中組との「いっしょにあそぼう」の会をもった。できれば学園全体で教員研修会を持ちたい。(△)
		ウ) 授業研究会の案内及び相互参加と意見交換会を実施する。	-	ウ) 兄妹校において英語科の授業見学会、事後研修会が実施された。今後の持ち方については要検討。(○)
5 自然に挨拶が交わされる学園にする	挨拶を励行する	ア) 教職員間で気持ちの良い明るい挨拶を継続して励行する。「紹介ブック」を活用する。	設問「教職員は気持ちの良い挨拶を行っている」のA・B評価が80%以上。	ア) A・B評価 81.6%。マリア像前での挨拶、教員間の挨拶等良好である。児童生徒にも立ち姿で教えることに波及しているように感じる。(○)
		イ) 児童に対し静かな右側廊下歩行を徹底させるとともに、挨拶・会釈の指導を行い励行を促す。まず、教員が模範を示す。	設問「教職員は、社会人としての良識をわきまえた言動を実践している」のA・B評価が80%以上。	イ) A・B評価 73.2%。児童を取り巻く社会情勢、特に言葉遣いやマナー等が乱れがちなか中、根気強く指導を続けた。(△)
		ウ) 母親教室(校長、教頭、教員、講師招聘)で啓発を行う。	設問「保護者に対して教育目標(および指導方針)の説明をわかりやすく行っている」のA・B評価が80%以上。	ウ) A・B評価 70.9%。母親教室に関しては毎回100%近い出席率であり、教育に関する意識の高さを実感している。継続実施する。(○)